

取扱説明書

平面アンテナ FAA01EJ010/FAA02EJ010

平面アンテナFAA01EJ010/FAA02EJ010をお買い上げ頂きありがとうございます。
本製品をご使用になる前に必ずこの説明書を良くお読みください。

1. 特長

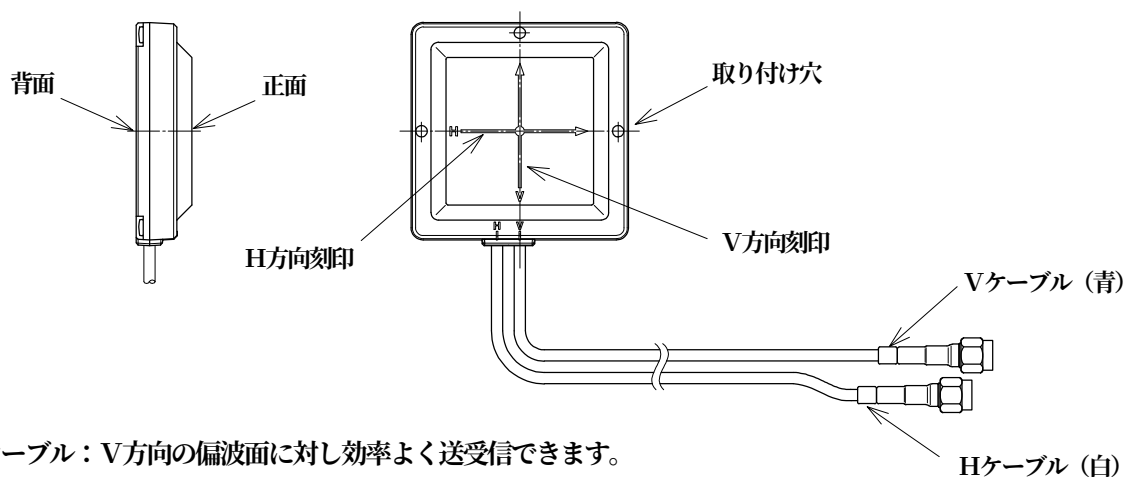
- ・1台でダイバシティ（FAA01EJ010）
偏波ダイバシティ方式により1台のアンテナでマルチパスに強いダイバシティ受信が可能です。
- ・小型で取り付け簡単
組み込みに適した小型、薄型のアンテナです。背面（下図参照）の影響を受けにくいので、直接壁などに取
り付けることができます。
- ・防滴構造なので屋外設置が可能

2. 製品概要

FAA01EJ010：偏波ダイバシティ方式の平面アンテナで、'V'と'H'の2つの直交した偏波面を持
ちます。

FAA02EJ010：偏波ダイバシティ方式ではない平面アンテナで、FAA01EJ010の偏波面を
'V'方向のみとしたものです。

3. 各部の名称



Vケーブル：V方向の偏波面に対し効率よく送受信できます。

Hケーブル：H方向の偏波面に対し効率よく送受信できます。

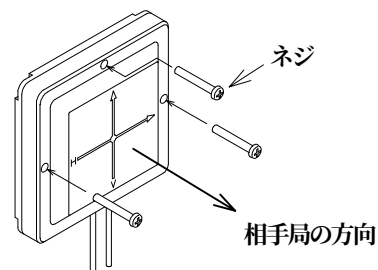
4. 設置方法

(1) 取り付け方法

本アンテナは矢印が刻印されている面（正面）の方向に指向性がありますので、正面を通信相手に向けて設置してください。

ケーブルは下向きになるように取り付けてください。

取り付けはM2. 6～M3のネジを使用します。締め付けトルクは
3 kg・cm程度としてください。

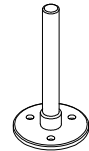
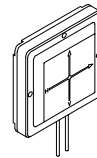


(2) 偏波面について

一般にアンテナは偏波面が合わないと感度が低下しますので、送信と受信の偏波面が一致するように設置してください。

平面アンテナ同士の場合はアンテナのケーブルを下向きに設置し、本体からでている2本のケーブルのうち、無線機の送信側コネクタに接続するケーブルの種類（VケーブルまたはHケーブル）を揃えることにより偏波面を合わせることができます。

相手のアンテナがつば付きアンテナの場合は、つば付きアンテナの向き（図の例では垂直）と一致する方向のケーブル（図の例ではVケーブル）を無線機の送信側コネクタに接続すると偏波面を合わせることができます。



つば付きアンテナが垂直の場合

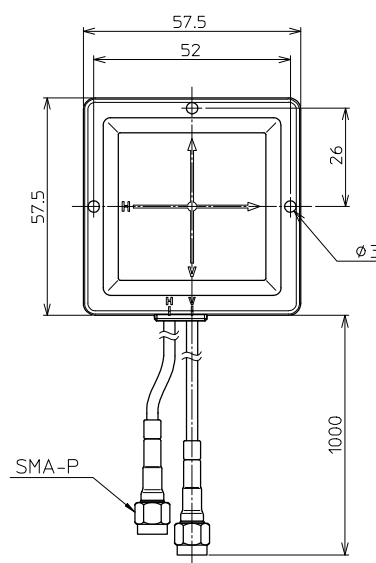
5. 設置上の注意点

- (1) 2.4 GHzの電波は直進性が強く反射しやすい特徴があります。アンテナの正面方向の近くに金属等の物体があると、到達距離が短くなったり極端な指向性がでたりしますので、できるだけ正面方向は物体から離れた見通しの良い場所に設置してください。
- (2) 本体は防滴構造のため屋外設置可能ですが、水滴等が付着すると特性が劣化する恐れがありますので保護ケースに入れることを推奨します。また、コネクタは防滴構造ではありませんので、屋外に設置するときはコネクタ部分の防水対策が必要です。

6. 製品仕様

形式	: 直交偏波ダイバシティ平面アンテナ (FAA01EJ010)
	: 平面アンテナ (FAA02EJ010)
周波数範囲	: 2400MHz～2497MHz
利得	: 2.14dBi
許容入力	: 0.5W
コネクタ形状	: SMA-Mコネクタ (ケーブル 1.5D2Vタイプ 1m)
本体構造	: 防滴構造 (JIS D0203 S1)

7. 外形寸法



注意 FAA02EJ010ではHケーブルはありません

おことわり

本製品は当社の双方向SS無線ユニット FRHシリーズ用として開発されております。電波法の規制により、他社製のSS無線ユニットにはご使用になれないことがあります。

不明な点は下記へお問い合わせください。

●無線機器グループ産業機器営業ユニット 〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚1080

TEL (0475)32-6173

FAX (0475)32-6179

●無線機器グループ技術第2ユニット 〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚1080

TEL (0475)32-6021

FAX (0475)32-3514

●ホームページアドレス <http://www.futaba.co.jp>



双葉電子工業株式会社